

令和6年度 市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■協働パートナー部門、(新規)かなえるニーズ部門

採択月	特別枠	団体名	事業名	内容
9月		西鉄高架沿線活性会	西鉄沿線にぎわい活性化事業	<p>【事業目的】</p> <p>鉄道高架事業に伴い沿線道路上空に仮線路が設けられ、当該商店等の前面道路は陽が当たらず、通行量も減り賑わいもなくなり治安上の心配も絶えずない状況であった。そのイメージを払拭するためにまちの明るさ・賑わいづくりを継続して行う。</p> <p>【主な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9～3月 道路清掃(毎月第1日曜) ・6、11月 花植え・手入れ ・11月 イルミネーション点灯式 ・11月～1月 イルミネーション点灯期間
9月		けやきとアートの散歩路	アートのたねまきVol.13 めぐって繋がるまちづくり『久留米まちなか美術館』	<p>【事業目的】</p> <p>久留米の自然・風土・文化や芸術の魅力が市民や訪問者にも伝わっていないため、久留米の魅力を持つエリアを循環できる仕組みが必要である。そのために、アートイベントなどを通して久留米の魅力のあるエリアが認知されるような発信を行っていく。</p> <p>【主な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月 第11回 けやきとアートの散歩路音楽 第8回 バイオルガンとチェロの調べ ・11月 第13回 久留米まちなか美術館 メインイベント ・9～11月 久留米まちなか美術館 アート展示
9月		本業+αプロジェクト	本業+αプロジェクト	<p>【事業目的】</p> <p>超少子高齢社会では、課題を抱える市民だけが「当事者」ではなく、市民の誰しもが将来的には「課題の当事者」となる恐れがある。さらには自然災害が多発するようになり、自主防災・自主防疫する体制構築が必要である。そこで、「本業+α」(経済性と社会性の両立)に取り組む事業所の掘り起こしとネットワーキング、専門家による防災講演会、学習会及び交流会、フェーズフリーパンフレットの作成を行う。</p> <p>【主な活動内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①拠点の掘り起こし、ネットワーキング ②防災に関する講演会 ③各拠点での学習会及び交流会 ④フェーズフリーパンフ作成(市民用)
9月		三瀬町総合ボランティアセンター	やさしさと思いやりで、安心・安全で元気な地域づくり	<p>【事業目的】</p> <p>核家族化の進行とともに、地域社会の人間関係は希薄化しており、地域の相互扶助という大切なものが失われる中で、日頃から地域の絆を高めていくことが課題となっている。登録ボランティア団体、社会福祉協議会、ふれあいの会等との連携、研修講座の実施や地域の環境美化活動、高齢者の見守り活動、小学校への学習支援などを行い、地域の絆を高めていく。</p> <p>【主な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月 「認知症予防対策」講座の実施 ・11月 「脳トレとカラオケ」講座の実施 ・1月 「地球温暖化対策—私たちにできることII」講座の実施
9月		BS通り街づくり推進協議会	第10回 BS通りさくら祭り音楽祭	<p>【事業目的】</p> <p>JR久留米駅に近接している、BS通り沿道地域の認知度が低く、地域を知ってもらい取り組みが必要である為、久留米城址にて昔から親しまれている桜や珍しい御衣黄桜を背景に、本市内の学生等による音楽演奏する「さくら祭り音楽祭」を開催する。</p> <p>【主な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月 BS通りさくら祭り音楽祭
9月		久留米市ろうあ協会	手話言語を広げよう	<p>【事業目的】</p> <p>手話の重要性が地域市民に広く認知されていなかったり聴覚障害者への理解が不十分であったりと、コミュニケーションが困難で誤解や偏見が残る傾向にある。そこで、手話言語に関するイベントを開催し、認知度向上を図るとともに、体験型のワークショップや展示会を開催し、地域市民が気軽に手話に触れる機会を提供する。</p> <p>【主な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月 石橋文化センターにて手話言語の重要性と理解を広める展示の開催 ・2月 石橋文化センターにて手話を知るための広報活動の実施